

HIRANO SMCs を使ってみよう

令和5年8月30日（木） フリー研修

本校教諭 森木 亜季が講師として行いました。導入で「握手しよう」を参加者で行いました。次に音楽療法と音楽教育の違いの説明があり、その中で音楽療法は「ゴールは対象者にある」、教育は「目標を決めて、目標に向かってどのようにするか」という点に違いがあるということの説明がありました。教育現場でどのようにして音楽療法の手法を使っているのかがポイントとのことでした。

実践報告では、授業の動画をみんなで鑑賞しました。その中で、児童生徒の動きを引き出すために音楽をただ流しているのではなく、一旦音楽を止めて本人の動作を待つという授業にすぐに実践できる音楽療法の手法のアドバイスがありました。また、アドバイスのあと、「すずの曲」を使って、音楽の流し方や手法の確認をしました。「クリモカ・ベル」では、実際に「クリモカ・ベル」を演奏している動画を観ながら教員が演奏をしました。音を鳴らすタイミングで、楽器の写真と音階が入った静止画が挿入される視覚支援が含まれ、その動画は工夫がなされていました。

最後に意見交換では、音楽が得意ではない教員にも音楽を使ってほしいという思いがあり、どんな音楽なら使いやすいかとの森木教諭の問いかけに参加者から、歌に合わせて身体を動かす、季節の歌なら使いやすいなどの意見がでました。授業の中で使用している曲を使うことで、児童生徒の自発的な動きを引き出せるのではないかという意見もありました。音楽の魅力をみんなで感じたフリー研修でした。

